

君が、「加害者」でも「被害者」でもあってはならない！

長崎の小学6年生女子による殺害事件から10年が経過しました。この事件は、「ごく普通の子ども」といわれた少女が、友達を刃物で殺害するという悲惨な行動をしてしまったのです。みなさんが、小学生になるかならないころの事件です。

昔は、子どもは子どもの世界があり、河原に仲間だけの秘密基地を作って遊んだりしていました。しかし、いつも数日後には、きちんと元に戻されていました。大人は知らないふりをしてどこかで見ていたんですね。

今はどうでしょう？携帯電話にメール、LINEや掲示板には誹謗中傷、子どもたちは非常に危ない世界に入り込んでいます。しかし、現代はそれが大人からはまったく見えないのです。特に、10年前の長崎の事件の発端になったチャットは、参加している者が1つ言葉に対してのめりこんでいく傾向にあります。いつの間にか、日ごろはそんなことを考えたことが無いのについつい過激な発言や内容になるといわれています。これは、10年前も現在もあまり変わってはいませんね。

「いのちの大切さの指導を・・・」「刃物は持ってこない指導を・・・」など学校に求めるだけでは何の解決にもならないようです。今こそ、家庭でもう一度わが子を見つめ真剣に語り合うときではないでしょうか。体は大きくなっていますが、頭や心はまだ未熟な子どもです。子どもにいい時代をすごさせるため、また、将来の子どもにいい文化を残していくために、学校と保護者、それに生徒ひとり一人が真剣に考えて行動していきましょう。同じ過ちを繰り返してしまわないためにも。君が、「加害者」でも「被害者」でもあってはならないのですから。



《つぶやき》

子どもの頃って、「苦」は誰かの仕業で犯人がいた。「幸」は全部自分のお手柄だった。

「心の成長」って、この部分が逆転することを言うのかもしれないな。

その「苦」は、全て自分の捉え方！その「幸」は、全て他人のお陰様！

油断しているとまだまだ元の鞘に収まっちゃう未熟な私が 居る 居たッ！

おおお？ 危ないーッ (≧▽≦) ん！ しっかり心を律して今日も感謝溢れる一日でありますように…。